

百十五年目の「酉の市」

年の瀬のお祭り、下町愛宕神社の酉の市は、開始からもう百十五年が経ちました。神社境内の西北の隅に建つ「酉の市起原碑」には明治四十年十二月六日に、開始したと記されています。開始当初は沢山の露天商の方々に出店をお願いしようと、金一封にお弁当を付けて、お願いしたそうです。

そして今日のような盛大な賑わいを見る迄には、明治四十三年の大洪水、大正の大震災、昭和の世界大戦、そして東北大震災等々、幾多の時代変化を経て来ました。その度に人々は、安全を祈り、時には戦勝を祈念し、平和を祈願して来た愛宕神社です。

更に此の盛大な「酉の市」は、秩父の妙見さま・秩父神社の三日（夜祭・大祭）を皮切りに、山を下って、六日の行田は下町の愛宕神社、八日は熊谷の高城神社、十日は大宮の氷川神社、そして十二日は浦和は岸町の調神社と野に移ります。

天変地異の一年でしたが来る年は平和でよい年となりますよう祈念しつつ開運・家運隆盛・商売繁盛として行われる「酉の市」にご家族・お友達お誘い合わせの上、是非お出かけください。

下町愛宕神社氏子一同



午後3時30分から

次の催しものを開催予定です。

- 若葉保育園の園児による太鼓演奏
- 忍小学校の児童による吹奏楽演奏
- 忍城おもてなし甲冑隊による演舞

今年も浮き城のまち・下町商店会と
神社協賛で来年の開運大判カレンダー
(月めぐり)プレゼント！

※但し、熊手をお求めされた方に限ります。
無くなり次第終了となります。